

# お手入れ方法

つづき

## お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

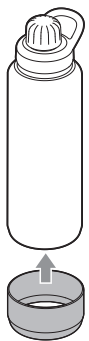
- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- 本体内部に酸素系漂白剤を使用する際は、せんセット・キャップセットを取りつけない。本体の内圧が上がり、せんセット・キャップセットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体・せんユニットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いができますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

# 底カバーの取り付け方

## 底カバーの取り付け方

底カバーを本体の底に合わせてしっかりと取り付ける。

※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因になります。



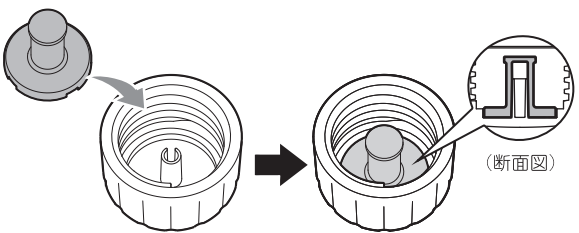
# パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取り付ける。

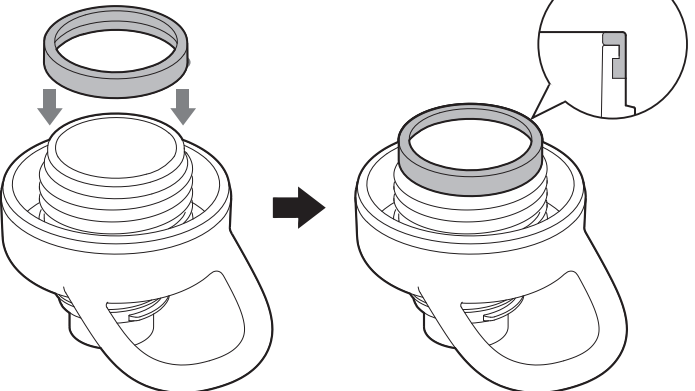
## キャップパッキンの取り付け方

キャップパッキンをキャップの凸部にはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いてないことを確かめる。



## せんパッキンの取り付け方

せんパッキンをせんの凹部にはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いてないことを確かめる。



※正しく取り付けないと、飲みものもれの原因となります。

# 赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
  - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
  - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
  - 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

# こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■キャップ・せんからもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	キャップやせんがしっかりとしまっていますか。	しっかりとしめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの(本体内部・せん)がにおう	飲みものを入れすぎているか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保冷が効かない	十分に冷たい飲みものを入れてありますか。	十分に冷たい飲みものを規定量になるまで入れてください。
	飲みものの量が少なすぎませんか。	氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※キャップパッキン・せんパッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

# アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

# 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に記載されています。)

- ① ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
AJL型 キャップセット(キャップ、キャップパッキン)
AJL型 キャップパッキン
AJL型 せんセット(飲み口、せん、せんパッキン)
AJL型 せんパッキン
AJL型 ★底カバー

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。  
★本体容量によって部品のサイズが異なります。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

## お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら

0570-094891

06-6453-9489

- 受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
- 製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

# Peacock

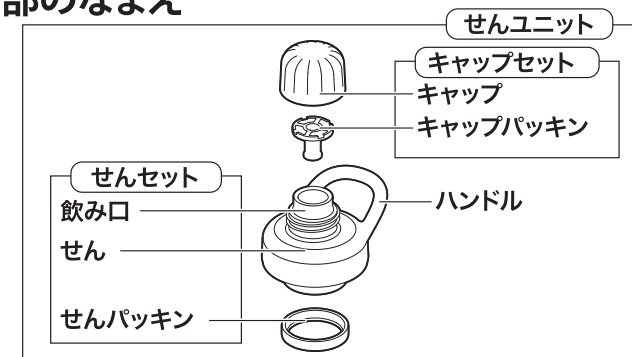
保冷専用

## ストレートドリンクタイプ 取扱説明書

AJL 型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

# 各部のなまえ



びん口部

本体

外びん

内びん

キャップ・せん(飲み口)・パッキンは抗菌加工です。

※試験機関: TÜV SÜD Products Testing (Shanghai) Co., Ltd. 試験方法: ISO 22196:2011に基づく  
対象部分: キャップ・せん(飲み口)・パッキン  
試験結果: 99.9%の抗菌効果  
試験番号: [キャップ・せん(飲み口)] 721653544  
[パッキン] 721657945

底カバー

取扱説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。 ①

# 安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

## 飲みものの保冷以外に使用しない

- **ドライアイス**  
本体内の圧力が上がり、せんセットやキャップセットがあかなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を多く含んだもの**  
サビ・保冷効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**  
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

- **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。**  
けがなど危険。

- **飲みものは、規定量までにする。** 入れすぎると、もれ・あふれのおそれ。

- **熱い飲みものは絶対に入れない。** やけどのおそれ。

- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。

- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**  
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内部をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。

- **大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。**  
傷・もれ・変形など故障の原因。

- **せんセット・キャップセットは確実にしめて使用する。**  
確実にしめないと、もれるおそれ。

- **せんパッキン・キャップパッキンは必ずつけた状態で使用する。**  
もれ・衣服を汚す原因。

- **キャップを持って運ばない。** 落としてけがや破損の原因。

- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**  
万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。

- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みもののもれがあった場合、精密機械の故障の原因。

- **自動車運転中は使用しない。**  
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- **自動車専用の缶ホルダーで使用する場合**  
①あらかじめ強度を確認してから使用する。  
強度が十分でない場合、缶ホルダーがはずれたり破損して、車内や衣服を汚す原因。  
②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。  
ウィンドウやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。

- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。

- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

- **倒したり、落としたりぶついたり、強い衝撃を与えない。**  
破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものもれる原因。

- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。

- **車の中や直射日光の当たる場所など高温になるところに長時間放置しない。** 炭酸飲料を入れた場合、内部の圧力が上昇してせんユニットが破損して飛散する可能性があります。また、飲みものがふき出して他のものを汚す原因。

- **炭酸飲料を入れた場合は本体を立てた状態で、できるだけ揺らさないように運ぶ。** 飲みものがふき出して他のものを汚す原因。

- **底カバーを持って逆さにしない。**

- **持ち運ぶときは、せんについているハンドルに強い衝撃を与えない。**  
せんがひらくおそれ。

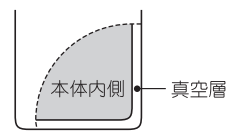
- **せんセットについているハンドルを持って持ち運ぶときは、せんがゆるむ方向に回転させたり、強い衝撃を与えない。せんがゆるまないように注意する。** せんがゆるんで落下するおそれ。

- **せんセットについているハンドルに金具やひも等をつけ、ぶら下げて使用しない。** せんがゆるんで落下するおそれ。

- **かばん等に入れて持ち運ぶときは、せんセットについているハンドルにものが当たらないようにする。** せんがひらくおそれ。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保冷効果が低下するおそれ。真空層にたまった水が本体内部にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。

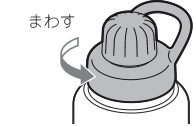


# ご使用方法

はじめにご使用になる前に、せんユニット・本体を洗ってください。

## 1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてははずす。



## 2 冷たい飲みものを入れる



冷たい飲みものを入れ、せんユニットを確実にしめる。  
※炭酸飲料はゆっくり本体に注いでください。  
※氷を入れる場合は少量ずつゆっくり入れてください。  
※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷して使用してください。温かいまま使用しますとびん内部が減圧されキャップパッキンがはずれるおそれがあります。  
※飲みものは図の規定量までにする。

飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、元どおりせんユニットをしめてください。

## 3 せんユニットをしめる

キャップをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。



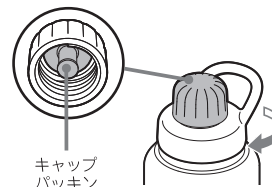
## 4 キャップセットをはずして飲みものを飲む

本体を立てた状態でキャップセットをまわしてははずす。まわす  
※炭酸飲料を入れた場合は、キャップセットをゆっくりまわして本体内部に溜まったガスが抜けるのを確認しながらあけてください。  
※せんセットと一緒にまわらないように注意してください。  
※せんセットが確実にしまっているか確認してください。



## 5 飲み終わったらキャップセットをしめる

本体を立てた状態でキャップセットを確実にしめる。  
※キャップセットをしめるときは、キャップパッキンが正しく取り付けられているか確認してください。  
※せんセットが確実にしまっているか確認してください。



# お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

### ● 本体外側・キャップ・せん

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。  
※つけ置き洗いはしない。

### ● 本体内部

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

### ● パッキン

キャップやせんから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.7 (パッキンの取り付け方) を参考にして、キャップやせんに確実に取り付ける。  
(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

### ● 底カバー

本体から取りはずし、ぬるま湯が水で丸洗いし、十分に乾燥させてからP.6(底カバーの取り付け方)を参考にして取り付ける。  
※つけ置き洗いはしない。